

ちっちゃいものくらぶ

ニホンザル（さん）

今年の干支だね～。干支の中で閏年になるのは、子・龍・申の3つだということをつい最近知った。考えてみれば当然なんだけどね。

現存する霊長類の中では、ヒト以外では最北の下北半島まで棲んでるんだって。シャーロットちゃんて有名な、大分県の高崎山は野生のニホンザル生息地として天然記念物に指定され保護されてる。



生活:群れを作る 雄は大人になる前に群れを出てヒトリザルになるけど、後から別の群れに合流する子が多い 雌は生まれた群れで一生を過ごす 夜は樹の上で眠る 午前と午後にご飯

食べ物:果実、若芽、種子、昆虫、クモ、カニ、鳥の卵、貝、雪が降るとこの子は樹皮も食べるよ

繁殖:交尾期(秋から冬の4か月) 妊娠期間(6ヶ月) 出産(初夏から盛夏)

たいていは一人だけ産む。双子は少ない。生れたての赤ちゃんは約 500g 生まれてすぐにお母さんのおなかにしがみつく

コミュニケーション

群れで生活する生き物はどうしても必要なものだね。鳴き声はいろいろあるみたいだけど、個人と個人の親密な関係を築くのは、毛づくろい(グルーミング)らしい。そのほかに、「ハグ」するサルちゃんもいることが京大の研究でわかったんだ。これは仲良くないサル同士が接近した時に、緊張をほぐす挨拶なんだって。研究チームによると、宮城県金華山のサルは平均17秒と長いのに対し、鹿児島県屋久島では短いという結果が出た。私もアメリカにお仕事で行った時は、現地で歓迎してくれた方とハグをよくしたけど、17秒はないな…。

ニホンザルさんはオナガザル科なのに、なんでしっぽが短い？

寒い所に棲む生き物は、身体の空気にくっつく部分になるだけ少なくしたいんだね。だからあんまり必要ない物はちっちゃくしちゃう。寒いところのうさぎも耳がちっちゃいよ。これは「アレンの法則」というんだ。体温と気温の関係で、ここから熱を出すか出さないかで、進化の方向性が変わってくるんだって。フェネックってキツネの仲間知ってる？この子はやけに耳がでかい。アフリカの砂漠地帯とかに棲んでるから、耳を大きくして熱を逃がしてるんだね。



温泉に入るサルちゃん

日本だけに見られる光景。外国でも有名らしい。寒さを凌ぐために入るみたいだけど、温泉嫌いな子もいる。

汗腺が少ないから汗もかかず急な体温変化がないので、湯冷めはしないそうです。

わびしらに
ましらな鳴きそ あしひきの
山のかひある 今日にやはあらぬ
古今和歌集 凡河内躬恒(九〇七年)
侘しそくに猿よ、鳴くな、今日こそは「かい」
のある日ではないか ましら..猿
※確か、「な...そ」で弱い禁止を表すんだっ
たよね？